

回生ニュース

K a i s e i N e w s

社会医療法人 峰和会

67号

2012.11月発行

発行/社会医療法人 峰和会
編集/鈴鹿回生病院
所在地/鈴鹿市国府町112番地1
TEL/059-375-1212
FAX/059-375-1717
URL/http://www.kaisaihp.com
編集協力/TCKnagoya

- 1 医療の現場から
「5A病棟紹介!」
- 2 あなたの街のお医者さん
「永井外科内科」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院専門外来担当医師一覧表
- 4 交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院附属クリニック専門外来担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・家庭介護シリーズ ～認知症について・・・PART1～
・Christmasおもてなしサラダ
- 6 回生.com
「腎臓センター」
- 7 Information
ほっと smile 他

第4回 亀山市

脳卒中

市民講座を開催します

「脳卒中、四十歳を過ぎたら要注意」

日時 平成24年11月11日(日) 13:00～

場所 亀山市文化会館

入場
無料

講演1 「脳卒中と認知症」

鈴鹿中央総合病院 神経内科部長 伊藤 伸朗

講演2 「今は大丈夫、でもこの先は」

鈴鹿回生病院 脳神経外科診療部長 荒木 朋浩

講演3 「痙縮に対するボツリヌス治療」

鈴鹿回生病院 神経内科部長 松浦 慶太

講演4 「なぜ?若いのに脳卒中」

鈴鹿回生病院 副院長 金丸 憲司

昨年は 300 名を超える市民の皆さんにご参加いただきました。当院金丸副院長をはじめ専門医による脳卒中に関する最新の話題をわかりやすくお話する講座となっています。前回も好評でした講演終了後の市民の皆さんからのご質問にお答えするコーナーも設けていますので、皆さんお誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

第4回 亀山市
脳卒中
市民講座

「脳卒中、四十歳を過ぎたら要注意」

日時 平成24年11月11日(日) 13:00～
場所 亀山市文化会館
入場 無料

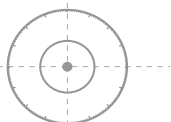
【演】者

1 「脳卒中と認知症」 鈴鹿中央総合病院 神経内科部長 伊藤 伸朗	2 「今は大丈夫、でもこの先は」 鈴鹿回生病院 脳神経外科診療部長 荒木 朋浩
3 「痙縮に対するボツリヌス治療」 鈴鹿回生病院 神経内科部長 松浦 慶太	4 「なぜ?若いのに脳卒中」 鈴鹿回生病院 副院長 金丸 憲司

5A病棟

紹介!

introduction



救急搬送された重症患者の受け入れ、脳神経外科、神経内科の患者さんの入院治療を行っている病棟です。集中治療室(6床)を有しています。

特徴

当病棟では、脳出血、脳梗塞、脳腫瘍、脊椎疾患、腰椎頸椎疾患などの急性期からリハビリテーション期にわたる継続看護や、神経内科領域をチーム一丸となって行っています。

体制

看護師28名、看護助手5名、総勢33名のスタッフで患者さんの看護に取り組んでいます。この病棟で一番多い疾患である脳卒中というのは、脳の血管の障害により手足の麻痺・意識障害などの症状がある状態をいいます。それ

により、急激な生活環境の変化が起こります。そのため患者さん自身のストレスは大きく、リハビリ

もやる気が出なかったりする方が多いのです。そのような場合、いかにやる気を引き起こせるかが、私たちの役目だと思って看護に取り組んでいます。昨年より当病棟に、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が配属となりました。嚥下障害の患者さんも多く入院され、入院時に嚥下評価を行っており、今までは、言語療法士(ST)の分野での評価でしたが、認定看護師による勉強会開催や手順・マニュアルを作成され、看護師も評価を行えるようになりました。そして専門的知識を持っている認定看護師の積極的な活動が影響で、看護師各自の学ぶ姿勢がより一層高くなりました。



5A病棟の こんないいところ!

急性期を扱う病棟なので緊急の入院や手術が多く緊急時に迅速に対応できるスタッフがそろっています。新人ナースも3人いますが、本当に良く育ってくれています。彼女たちもはじめの2~3ヶ月は苦労していると思いますが、指導する側が「新人ナースが育つことで結果自分たちも成長できる」という考え方で指導してくれているので、自慢できるところですね。また、脳外科の金丸副院長が中心にまとまっています。厳しくもありユーモアがある先生なので、食事会などを企画してくださりスタッフ同士のコミュニケーションにも一役買ってくれています。

患者さんに伝えたいこと

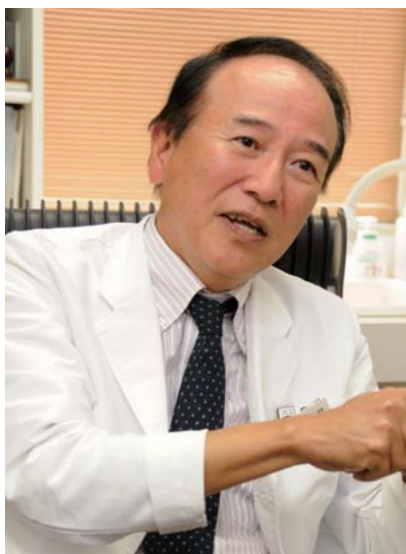
秋には亀山市で、春には鈴鹿市で毎年行われる脳卒中市民講座。今回のテーマは「40歳を過ぎたら要注意」ですが、最近30代の方でも罹患されています。一番の原因は生活習慣ですので食生活や生活のリズムの整えが大切です。また後遺症が残ったリハビリ訓練には、ご本人の回復力が大きく影響されます。

私たち看護師は、主治医とは勿論、他部門(栄養課・リハビリ・ケースワーカー・ソーシャルワーカー等)と連携を図り、少しでも元の生活にもどれるよう退院に向けての支援サポートを行っています。常に患者さん、ご家族への精神的支えとともに、質の高い医療・看護の提供を目指して参ります。



連携医療機関紹介

永井外科内科



▲ 院長の永井研治先生

受け継がれて15年

永井外科内科は、近鉄「鈴鹿市駅」より北へ徒歩2分ほどのところにあります。院内中央には熱帯魚の水槽があり、生きたサンゴやニモ（カクレクマノミ）が出迎えてくれます。



院長の永井研治先生は、名古屋保健衛生大学（現在の藤田保健衛生大学）を昭和54年（1979年）にご卒業されました。日本鋼管病院、前田外科病院などで勤務医をご経験後、大学に戻り消化器外科医として研鑽を積まれました。先生が30代半ばごろに、腹腔鏡下で行う医療技術が出始め、腹腔鏡下胆嚢摘出術や胃切除、大腸切除など当時の最先端の医療に従事され、医療の奥深さを学びこのような現場で生涯過ごすものだと思っておられたといひます。しかし先生が42歳の時、御尊父様が病に倒れ、その間の

代診で外来診療を行うこととなったそうです。それを機に平成9年から正式に院長としてこの永井外科内科を引き継がれました。

「引き継いだ当初の父の患者さんも、だんだんと私の診療に慣れ、雑談も増え、今ではゆったりと診療を受けていただけるようになりました」と先生。

現在先生を筆頭に看護師3名、事務4名、の8人体制で診療を行っています。

かかりつけ医の役目

御尊父様がこの地に開業して45年が経過しました。開業当初は有床診療所で、診察室にも手術室の名残があります。この診察室で診察をされていると「ここ、懐かしい！ここで手術してもらったんですよ」と言われる患者さんもみえるのだとか。先生の同級生はもちろん、同級生のお父さんやお母さん、おじちゃんおばあちゃん、自分の幼い頃をも知っている昔ながらの患者さんが今でも来院してくださり、その方たちを診察できるということはとてもうれしいことだとおっしゃいます。そんな先生に普段から心がけていることを伺いました。

「昔と比べ、患者さんは高齢化していますので、ゆっくり時間をかけた診療をモットーにしています。というのも患者さんの話を聞いてあげる時間が減ることが続くと、血圧が不安定になったり食欲がなくなったり、調子が悪くなることがわかったのです。患者さんの話をゆっくり聞いてあげる、そうすることで、来院された時よりも診察を終えて帰られる時の方が元気になると思います。診療に時間をかけるといっても、1時間や2時間かかるわけではありませんので、こうした少しのことで、患者さんがハッピーになればいいかなと思っています。ちょっとしたことですが、これがかかりつけ医の役目だと思います」。

DATA

TEL 059-382-0576

住所

鈴鹿市神戸8-27-35

診療科目

●外科●内科●胃腸科●整形外科●皮膚科
●泌尿器科●肛門科●リハビリテーション科

診療時間

午前／8時30分～12時30分

午後／3時00分～6時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	×	○	△	×

△土曜午後1:00～3:00まで

休診日

木曜午後、日曜、祝日

ホームページ

<http://www.myclinic.ne.jp/nagaigeka/pc>

患者さんへのメッセージ

～月並みですが、我慢しないで「おかしいな?」と思ったら、気軽にお越しいただきたいですね。あまり症状がなくてもレントゲンを撮って見たら随分病気が進行していた、ということも少なくありません。早めの治療をお勧めします。経鼻内視鏡も早くから導入しておりますので簡単なスクリーニングも行えます。必要に応じて鈴鹿回生病院や鈴鹿中央総合病院などの大きな病院にも紹介させていただきます～

今後も、この地域のかかりつけ医としてのご活躍を期待しています。



家庭介護シリーズ 認知症について...PART1

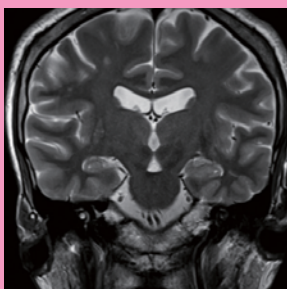
80歳を超える高齢者の4人に1人は物忘れなどの認知症を伴っているといわれます。認知症とは「脳や身体の病気が原因で記憶・判断力な

どの障害が起こり、普通の社会生活が困難になる状態」をいいますが、いくつかのタイプがあります。また1割程度の方にビタミン不足や鬱などによる病気で認知症の症状が見られることがあります。投薬などで症状が改善されることがありますので、早めにかかりつけ医に相談することが大切です。（当院でも毎週水・金曜日物忘れ外来を行っています。要予約）

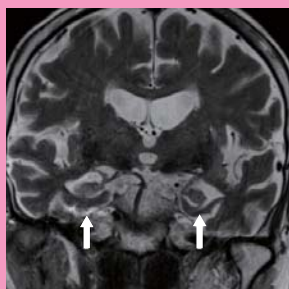


リハビリテーション課
理学療法士
間島 展華

頭部MRI T2強調画像

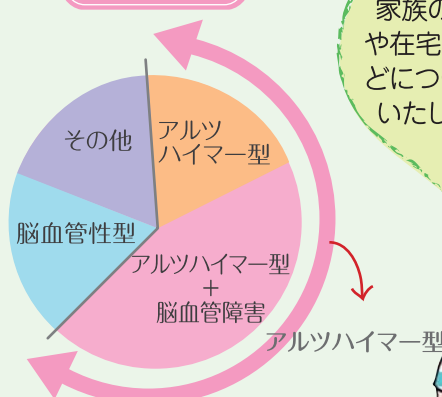


正常画像



側頭葉内側に萎縮を認める

認知症



68号69号で
家族の心理の変化
や在宅環境整備な
どについてご紹介
いたします。



発信@ 栄養管理室

管理栄養士
岡 久美子



●ブロッコリー

ブロッコリーはキャベツの一変種であり、カリフラワーの原型とされています。和名はミドリハナヤサイで、花蕾（からい）だけでなく茎も食べることができます。緑黄色野菜の中でも非常に栄養価が高く、中でもビタミンCや葉酸、ビタミンE、食物繊維が豊富に含まれます。葉酸はあまり聞きなれない栄養素ですが、ビタミンBの一種で動脈硬化や貧血、ガンの予防のほか、神経細胞の働きを維持させるといった効果が期待できます。

●調理のポイント

ビタミンCや葉酸などの水溶性ビタミンは茹でる時間が長いと水に溶けてなくなってしまう。もともとすぐに火が通るので、サラダなどで食べる場合はさっと火を通す程度にしましょう。旬である冬から春にかけてならスープやシチューなどにいれると溶け出したビタミンも同時に摂取できます。

ブロッコリー ピックアップ食材

Christmas おもてなしサラダ

【材料】4人分

ブロッコリー 大2房
ミニトマト 8個
黒ゴマ 適量

ポテトサラダ ※作り方は省略します

じゃがいも 中2個
ゆで卵 M1個
ロースハム 1枚
マヨネーズ 大2〜3杯
塩 ひとつまみ
こしょう 少々

手作りドレッシング

トマト 小1個
生バジル(乾燥バジル可) 2-3枚程度
にんにく 1/2かけ
オリーブ油 2/3カップ
レモン汁 大4〜5杯
塩 小1と1/2
黒こしょう 少々
粉チーズ 適量

栄養成分1人分

エネルギー 145kcal
たんぱく質 4.5g
脂質 11.0g
食物繊維 2.8g
塩分 0.5g



- ①ブロッコリーは小さくなりすぎないように切り、沸騰したお湯で茹でしておく。
- ②ミニトマトはへたをとり、上1/3のところで切りペーパータオル等で水気を取り除いておく。
- ③ドレッシングのトマトは湯むきして、横半分に切りへたと種をとり、5mm角に切っておく。バジルはみじん切り、にんにくはすりおろしておく。
- ④ボウルにレモン汁、すりおろしたにんにく、塩、コショウを入れて泡立て器でよく混ぜ、塩がとけたらオリーブ油を少しずつ加えてさらによく混ぜ合わせていく。
- ⑤2で切った下2/3の上にポテトサラダを適量盛り付け、黒ゴマをつけ上1/3のトマトをのせ、サンタクロースをつくる。（できるだけ食べる直前に）
- ⑥お皿にブロッコリーをクリスマスツリー風に盛り付け、5をのせたら粉チーズを全体にふりかけてできあがり。

※食べる時に手作りドレッシング大さじ1杯をかけて食べてください。

腎臓センター

このたび、鈴鹿亀山地区における腎不全治療の基幹的役割を担うべく、腎臓センターを開設いたしました。このセンターは、維持透析を受けている患者さんはもちろん、急性腎不全や急速進行性糸球体腎炎などの急性疾患治療にも対応しています。透析患者さんが起こしやすい、感染症、骨折、心臓病、脳卒中、閉塞性動脈硬化症などの合併症にも、関連各科と共同で対応します。



センター長 堅村信介

三重県で最も新しい透析施設です。透析室は、明るくて清潔で、最新の透析装置を備えております。水の管理にも配慮して、「透析液水質基準」を満たした環境を維持しており、on line HDFにも対応しております。待合スペースや更衣室は広くて、皆さんが使いやすい設計がなされています。

現在、医師2名、看護師4名、臨床工学技士4名体制で、透析治療を行っています。そのうえ、管理栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカーを加えたチーム医療によって、体調や病状の治療はいうまでもなく、栄養やシャント管理、さらに介護面からの支援をこころがけております。このようにして維持透析を受ける皆さんが、安心して透析治療が継続できるよう、治療とケアを提供していきます。

腎臓センターでは、新たに透析を始めることになる患者さんには、治療方法の選択を十分に説明しております。もっとも盛んに行われているのは血液透析ですが、腹膜透析や腎臓移植に関する情報も提供し、患者さん自らが治療法を選択できるように心がけています。透析治療は生涯にわたって必要ですから、開始するにあたって、皆さんがよく考えて前向きな気持ちで取り組んでいただくことが重要だからです。

腎臓センターは、研修医棟の一階にありますので見学にお越しください。前もって連絡くだされば、案内させていただきます。



受付



人工透析用水処理装置



待合



診察室



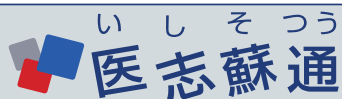
男子更衣室



女子更衣室



透析用監視装置



ご意見にお答えします。

Q どこの階の洋式便器も、流れきらず、残っていて汚い。水洗レバーを長押しするとよいみたいだが、一度ポッと押しただけだと流れきらず、残るみたいです。改善をお願いします。

A ご指摘ありがとうございます。
施設整備担当者と協議し点検・改善を行います。

◆◆ お褒めの言葉をいただきました ◆◆

外科手術をしていただいた者です。手術をしてくださった先生も、日々のお世話をしてくださる看護師の皆さんも、本当に献身的で、家族ともども頼もしくうれしく、術後の暗い気持ちも軽くなりました。特に、家族もできないようなお世話をしてくださった看護師さんの笑顔には癒されました。ありがとうございました。

A お褒めの言葉ありがとうございます。私たち看護師も患者さんの笑顔に癒やされます。今後も笑顔ある看護に努めます。

EMコール訓練

9月19日(水)、病院敷地内で急病者を発見した場合の救命救急処置訓練を行いました。沢山の職員が参加し今回は研修医棟で意識不明の患者さんを発見し現場で救命処置を行い救急外来処置室まで搬送を行うという訓練内容でした。万が一に備え、このような訓練も行っています。



ほっと smile

理学療法士と
スリーショット

4年前に股関節の手術を受けられた小関さん、村山さんと、リハビリ担当の松田です。



お二人はご自宅も近く、通院もよく一緒にされておられました。今では小関さんは趣味のパッチワークを楽しまれ、村山さんはエクササイズに汗を流されています。早く専門医の治療を受けることができ、とても良かったとおっしゃられていました。



編集後記

今回は「5A 病棟」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



病院のボランティアの方々に毎週美しく生けていただいております。(病院玄関)

防災訓練

9月20日(木) 院内で消防訓練、炊き出し給水訓練を行いました。この地域で震度5強の地震が発生したと想定し避難誘導、消火栓を利用した初期消火、消火器の操作、非常食の調理・試食、地下水を利用した訓練等を行いました。



11月14日は世界糖尿病デーです

糖尿病についてもっと多くの方に正しく理解いただくために、「世界糖尿病デー」という日が設けられました。当院の糖尿病教室のスタッフがそれぞれのテーマに沿って作成したポスターを掲示します。

場所

クリニック多目的室

期間

11/12(月)~11/16(金)

是非お越しください

年末年始休診のお知らせ

12月29日(土)から1月3日(木)は休診となります。

かいせいきっず info

今月は毬栗(いがぐり)を折り紙で作りました。保育士が折った折り紙に目のシールや口を描いて作りました。子供たちには栗ではなくどんぐりに見えたようで「どんぐりできたー」と喜んでいる姿がとてもかわいかったです。



開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し医療の質を向上させます
- ▶ より安全で高度な医療を提供します
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地

TEL059-375-1212 mailinfo@kaiseihp.com